

HCJB 日本語放送60年の歩み（1）放送開始の日！



1964年5月1日。地球の反対側の南米アンデス山脈の標高3千メートルのエクアドルの首都キトに位置するHCJB局スタジオから初めての日本語放送が「アンデスの峰を越えて」広い大空を駆けめぐりました。局内のスタジオ中央に設けられた大型マイクロフォンの前に私は妻の久子と二人で大きなマイクロフォンを前に緊張した面持ちで放送開始のサインを待っていました。

合図の手があがりました。5秒、4秒、3秒、2秒、1秒・・・スタジオの大時計の針が大きく「カチッ」と動き午後5時ぴたり。放送開始！テーマ音楽の「さくらさくら」のテーマ音楽が流れそれに乗せて「こちらはアンデスの声です。南米赤道の国エクアドルの首都キトから日本語番組をお送り致します」

その後は無我夢中であつという間の30分でした。タジオの赤ランプが消えるとふたりで顔を見合わせて胸をなでおろしていると、スタジオのドアが開いて、外で待ちわびていた関係者や知人、友人などがどっと押し寄せ、肩を抱いてお祝いのことばをいただきました。そのなかにはHCJBの開局当時からHCJBで活躍しておられた大先輩の夫婦の方もおられ、男女、年齢、国籍などを越えて、「放送」を使命にして来られた方々が駆けつけてくださり、まるで国連本部のような和やかで楽しい雰囲気になりました。HCJBの日本語放送はこうしてアンデス峰を越えて広い世界の空へ旅立っていったのです。

もともと私が放送に関わるようになったきっかけは、東京での神学校時代に通訳をたのまれていた宣教師が太平洋放送協会（PBA）と繋がりがあり、卒業と同時にそのまま放送の仕事に誘われたのがきっかけでした。当時は、ハワイやカリフォルニアの日本語放送局へ番組を送ったり、広報誌「PBA 便り」の企画編集などをしていましたが、南米エクアドルのHCJB局から日本語番組を放送する話がもちあがり番組を送り始めたのですが、現地では日本語がわからないので番組テープを逆方向に流して放送するなどの不具合が生じていました。「テープではなく人を送って欲しい」という局からの要望もどいたものでそれなら日本から電波宣教師を送ればいいではないかということになり日本の教会に支援をお願いして私たちが第一号となって出かけることになったのです。

1963年6月26日、羽田空港からまずアメリカへ渡り、宣教師として必要なサポートを集めるために北米各地の教会を巡回する旅がはじまりました。6ヶ月月間の苦難の日々でしたが、不思議に守られて年明けの1月6日の深夜にマイアミ空港を発って、南米エクアドルの首都キトについたのは夜明けでした。エクアドル航空の四発エンジンの飛行機がアンデスの峰々を縫うようにして首都キトの空港に着陸すると、送迎デッキからHCJBスタッフの歓迎の声が聞こえてきたのがとてもうれしかったのが今でも深く耳に残っています。

1964年5月1日、午後5時。放送15分前、いよいよ今日から日本語放送がはじまるというので放送スタッフは早くからスタジオで準備。コントロール室でも念入りにチェック。局長や知人たちも早めにきてくれていよいよ放送開始。まずは、「在エクアドル全権日本大使」のご挨拶、つづいてHCJB局長並びに関係者からのお祝いの言葉。そのあとHCJB合唱団が讃美歌を歌い、久子と二人で自己紹介をしながらこれからの日本語放送の番組案内やお知らせをしているうちに30分はあつという間。最後の挨拶が終わり久子と顔を合わせてホッとする間もなく、陰で世話をしてくださった放送にはベテランのナンシーさんがスタジオに飛び込んでこれ“Not a single mistake! Congratulations! (すべてうまくいったよ！放送開始おめでとう！)”と声をかけてくださいました。HCJB開局当時に活躍されたD.S. クラーク夫妻も加わってみんなで記念写真を取り、すべてを実現に至らせて下さった神の憐れみと慈しみ、また、その大いなる真実にここから感謝しながら家路をたどりしました。



サタデー・トーク

バイブル・トーク

きき手 尾崎一夫 毎週土曜日放送		淀橋教会 峯野龍弘主管牧師 毎週日曜日放送	
1月6日	新春対談：大武逞伯 X 赤林隆仁	1月07日	2024年 年始メッセージ 峯野龍弘牧師
1月13日	アメリカ大陸新発見（22回）	1月14日	リスナーからのお便り交換の時間
1月20日	南米大陸女ばかり：アルゼンチン	1月21日	旧約聖書：詩篇 31篇
1月27日	マリンバの調べ	1月28日	旧約聖書 詩篇 32篇

放送後の番組は、ホームページ(<http://japanese.reachbeyond.jp>)のトップページ左側メニューにある『インターネット放送』のリンクページからお聴きいただけます。（mp3形式）

放送時間：日本時間 午前7時半～8時 15.420kHz （再放送） 午後8時～8時30分 11.905kHz
（米国アリゾナ州制作／オーストラリア送信）

